

第5次レッドデータブック：  
絶滅のおそれのある日本の野生生物  
The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

## コアジサシ

*Sternula albifrons sinensis* (Gmelin, 1789)

箕輪義隆（水鳥研究会）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 鳥類分科会



環境省 編

令和8（2026）年3月



特に文献内で別途指定がない限り、この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：箕輪義隆，2026. コアジサシ. 環境省（編）第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物，pp. 229-234.

Citation: Minowa, Y., 2026. *Sternula albifrons sinensis* (Gmelin, 1789). In: Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan*, pp. 229-234.

# コアジサシ

*Sternula albifrons sinensis* (Gmelin, 1789)

カテゴリー判定結果 絶滅危惧 I B 類 (EN) A2

基準 A: EN	基準 B: —	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
----------	---------	---------	---------	---------

A2. 過去 10 年間もしくは 3 世代のどちらか長い期間を通じて、50%以上の減少があったと推定され、その原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でない。

【比較年】

10 年（世代時間不明）

【過去の状況】

全国鳥類繁殖分布調査（植田・植松 2021）において、1997-2002 年と 2016-2021 年にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録から、1997-2002 年に本種を確認した地点数は 59 であった。

【近年の状況】

全国鳥類繁殖分布調査（植田・植松 2021）において、1997-2002 年と 2016-2021 年にほぼ同じコースを調査できた現地調査の記録から、2016-2021 年に本種を確認した地点数は 15 であった。

評価分科会： 鳥類分科会

## 概要

夏鳥として渡来する小型のアジサシ類。本州以南の海岸や河川敷に生息し、広い裸地で繁殖する。自然の河川敷や砂浜のほか、埋立地に一時的に造成された裸地を利用することが多い。繁殖地では、草地化による裸地の消失、卵や雛の捕食、造成工事やレジャーにより人為的攪乱を受ける事が多く、繁殖成功率は高くない。

## 基礎情報

### 【形態】

全長約 23 cm。体と翼の上面は淡灰色で、外側初列風切は暗灰色。額、腰、体下面、尾羽は白色。成鳥夏羽は頭頂～後頭部、目先にかけて黒色、嘴は黄色で先端に小さな黒色部がある。脚は橙黄色。冬羽は額～頭頂部まで白色、嘴と脚は黒色になる。アジサシ (*Sterna hirundo longipennis*) はより大型で、夏羽では額に白色部がなく、嘴と脚が黒色である。

### 【生活史】

日本には 4 月に渡来し、9 月頃まで見られる。河川や内湾、海岸に生息し、水中にダイビングして主に小型魚類を採食する。繁殖期は 5～8 月で、広い砂礫地に集団で繁殖する。地面を浅く掘った巣を造り、1～3 卵を産む。抱卵日数は約 20 日で、雛は親から給餌を受けて成長する。巣立ち後の 8 月頃には、東京湾岸に数千羽が集結することが知られる。

### 【生息環境】

主に内湾や沿岸域、河川（中・下流）などの水辺に生息する。砂浜海岸、埋立地、人工海浜、河川中洲等の裸地で繁殖する。

生息環境区分：	【陸域_平地部 海岸部】裸地，砂地・礫地，河川中流域，河川下流域，河口域，ワンド，農業用水路，小河川，ため池・池沼，潟・湖・ダム湖，砂浜・礫浜，汽水域，塩沼地・塩性湿地・河口干潟，潟・汽水湖
国土地域区分：	【海域（沿岸）_潮間帯 表層】海面，藻場，アマモ場，サンゴ礁，干潟 (3) 都市地域，(4) 河川・湿地地域，(5) 沿岸域，(7) 島嶼地域

### 【分布域】

種としてはユーラシア大陸からヨーロッパ、アフリカ、オーストラリアに広く分布する。本亜種はロシア南東部、中国、日本、東南アジア、フィリピン、ニューギニア、オーストラリアに分布する。国内では本州（秋田・宮城県以南、稀に青森県）、四国、九州、琉球列島に夏鳥として渡来し繁殖する。

## 現在の生息状況

### 【分布域の現況】

春から夏にかけて全国で記録がある。太平洋側は宮城県、日本海側は秋田県以南の本州、四国、九州、琉球諸島で繁殖する。

### 【生息地の現況】

砂浜海岸、河川敷や中洲の砂礫地、埋立地の造成工事などで出現した裸地に営巣する。営巣地は全国的に減少傾向にある。東京湾や大阪湾、伊勢湾など内湾の造成地で大規模な営巣適地が出現する場合があるが、このような裸地環境が長期に渡り維持される事は稀である。千葉県千葉市の埋め立て地では、1990 年代に営巣地が平均 4.4 個所 (2-7 個所) あったものが、2000 年代 3.8 個所 (1-9 個所)、2010 年代 1.0 個所 (0-2 個所)、2020 年代 0.75 個所 (0-1 個所) に減少している。河川中洲や砂浜海岸でも環境改変や植生の変化等によ

り営巣地が消失する事がある。

【個体数の現況】

国内における繁殖個体数は 5,000~10,000 つかいとする推定もあるが、よくわかっていない。

存続を脅かす要因

埋立地では造成工事の進行、裸地の草地化により、繁殖に適した裸地が数年で失われることが多い。河川敷や中洲でも草地化の他、増水によりすべての卵や雛が流失することがある。捕食者としてカラス類 (*Corvus spp.*) やチョウゲンボウ (*Falco tinnunculus*)、ノネコの影響が大きく、捕食により営巣地が全滅する事もある。また、人為的な影響としては、釣りやアウトドアレジャーなどを目的に営巣地に立ち入ったり、車両を乗り入れることで攪乱を受けるほか、巣内の卵が持ち去られた事例がある。

要因の区分：	(過去)	湖沼開発，河川開発，海岸開発，土地造成，捕食（外来種による），捕食（在来種による），遷移進行・植生変化/自然遷移，自然災害，違法採集，基質・基物の減少及び消失，その他（レジャー等の人間活動）
	(現在)	湖沼開発，河川開発，海岸開発，土地造成，捕食（外来種による），捕食（在来種による），遷移進行・植生変化/自然遷移，自然災害，違法採集，基質・基物の減少及び消失，その他（レジャー等の人間活動）

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第4次 2019:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第4次 2018:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第4次 2017:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第4次 2015:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第4次:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第3次:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第2次:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	VU
第1次:	コアジサシ	<i>Sterna albifrons sinensis</i>	R

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和6年度末時点）

【青森県】最重要希少野生生物(A ランク), 【岩手県】絶滅危惧Ⅱ類, 【宮城県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【秋田県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【山形県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【福島県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【茨城県】絶滅危惧Ⅱ類, 【栃木県】絶滅危惧Ⅰ類(A ランク), 【群馬県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【埼玉県】絶滅危惧ⅠA類(CR)(繁), 【千葉県】最重要保護生物(A), 【東京都(本土部)】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【東京都(区部)】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【東京都(北多摩)】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【東京都(南多摩)】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【東京都(西多摩)】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【神奈川県】絶滅危惧Ⅰ類(繁殖期), 【新潟県】準絶滅危惧(NT), 【富山県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【石川県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【福井県】県域絶滅危惧Ⅰ類, 【山梨県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【長野県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【岐阜県】絶滅危惧Ⅱ類, 【静岡県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【愛知県】絶滅危惧ⅠB類(EN)(繁殖), 絶滅危惧Ⅱ類(VU)(通過), 【三重県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【滋賀県】絶滅危機増大種, 【京都府】絶滅寸前種, 【大阪府】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【兵庫県】A ランク, 【奈良県】絶滅危惧種, 【和歌山県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【鳥取県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【島根県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【岡山県】絶滅危惧Ⅰ類, 【広島県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【山口県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【徳島県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【香川県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【愛媛県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【高知県】絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN), 【福岡県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【佐賀県】絶滅危惧Ⅱ類種, 【長崎県】絶滅危惧Ⅱ類(VU), 【熊本県】絶滅危惧ⅠB類(EN), 【大分県】絶滅危惧ⅠA類(CR), 【宮崎県】絶滅危惧ⅠB類(EN-g), 【鹿児島県】絶滅危惧Ⅰ類, 【沖縄県】絶滅危惧Ⅱ類(VU)

## 保護に係る法令指定状況（令和7年度末時点）

鳥獣保護管理法, 都道府県条例指定種【福島県・石川県・京都府・鳥取県・福岡県・宮崎県】

## 参考文献

- 林宏・岡田徹, 1992. わが国におけるコアジサシ *Sterna albifrons* の繁殖状況. Strix, 11: 157-168.
- 環境省自然環境局, 2012. 平成23年度コアジサシ保全方策検討調査委託業務 報告書. 環境省自然環境局, 東京.
- 環境省自然環境局野生生物課, 2014. コアジサシ繁殖地の保全・配慮指針. 環境省自然環境局野生生物課, 東京.
- 桑原和之・箕輪義隆・早川雅晴・木幡冬樹・嶋田哲郎, 1997. 湾岸都市千葉市の鳥類3. コアジサシの生態、とくにその繁殖ステージについて. 「湾岸都市の生態系と自然保護」収録, pp. 483-504. 信山社サイテック, 東京.
- 桑原和之・早川雅晴・石黒夏美・佐藤達夫・澤口晶子・笠井貞義・箕輪義隆・石毛久美子, 2000. 4-2. 東京湾岸, とくに千葉市周辺におけるコアジサシの繁殖状況. 「東京湾の鳥類-多摩川・三番瀬・小櫃川の鳥たち-」収録, pp. 470-526. たけしま出版, 流山.

- 植田睦之・植村慎吾，2021. 自然環境保全基礎調査 全国鳥類繁殖分布調査報告 日本の鳥の今を描こう 2016-2021年. 176pp. 鳥類繁殖分布調査会，東京.

## アセスメントサマリー (Assessment summary)

*Sternula albifrons sinensis* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Sternula albifrons sinensis* is listed as EN under criteria A2.

A. Reduction in population size based on any of the following:

2. An observed, estimated, inferred or suspected population size reduction of  $\geq 50\%$  over the last 10 years or three generations, whichever is the longer, where the reduction or its causes may not have ceased OR may not be understood OR may not be reversible.

Habitat types:	<p>【Terrestrial/Freshwater area_Plain, Beach】 Bare area, Sandy area/Gravelly area, Middle river basin, Lower river basin, Estuary, Inlet, Agricultural ditch, Small river, Reservoir/Pond, Lagoon/Lake/Dam, Sandy beach/Pebble beach, Brackish water, Salt marsh/Intertidal mudflat (including mangrove wetland), Lagoon/Brackish lake</p> <p>【Marine area (Coastal area)_Intertidal zone, Surface water】 Sea surface, Algae bed, Eelgrass bed, Coral reef, Intertidal mudflat</p>
Threat types:	<p>Lake development, River development, Coastal development, Land development, Predation (by alien species), Predation (by native species), Successional progression/Vegetation change/Natural succession, Natural disasters, Illegal harvesting of biological resources, Reduction or loss of substrate, Other</p>
Law designation status for conservation	<p>Wildlife Protection, Control, and Hunting Management Act. Prefectural Ordinance-Designated Species 【Fukushima・Ishikawa・Kyoto・Tottori・Fukuoka・Miyazaki】 .</p>



©箕輪義隆 (水鳥研究会)



©箕輪義隆 (水鳥研究会)

執筆者: 箕輪義隆 (水鳥研究会)

Author: Yoshitaka Minowa

公表年月：2026年3月